

meet up!
- **selection** -
ミートアップ セレクション

2018 入賞作品集



プリント部門
グランプリ

[PRIDE] 河本 花波

作品サイズ：A4、2枚組 使用プリンター：キヤノン「PIXUS PRO-10」 使用用紙：エプソン「写真用紙クリスピー<高光沢>」

審査員講評

清水 哲朗

二人の人物を組み合わせる大胆なアプローチ。それぞれ鼻から1/2ずつ捉えるのではなく、アシンメトリーに切り取ったことで違和感を抱かせたことが功を奏しました。また、昨今は肖像権を意識するあまり面と向かった人物写真が少ない中で、撮る方撮られる方、互いの感情がバチバチとぶつかり合うように対峙した本作はインパクト十分。枚数の多いハイレベルな超大作組写真が集まった審査テーブル上でもモノクロ2枚組の本作は際立ち、最上の評価を勝ち取りました。撮り方もプリントも粗削りではありませんでしたが、それを上回る作品力に飲み込まれたのが本音。将来性を感じられるという点で、コンテストの趣旨にもフィットしての受賞となりました。

舞山 秀一

目線やメッセージの強さがストレートに伝わってくるアグレッシブさが魅力の作品です。審査の初期段階から印象が強く残っていて、迷わずこの作品を選びました。感情がきちんと乗った写真なのが何より素晴らしいと思います。タイプの違う2人の人物に注がれる作者の目線は同質でも、それに返ってくる2人の意識は違っているというのが面白く、潔く2枚の写真で完結している点も良いと思います。また、2枚の写真がグラフィック的になり過ぎず、それでいて1枚では成立しないというバランスの上に成り立っていて、印象をより強固なものにしています。まだまだ粗削りな作品ですが、内容の強さがそれをカバーして気にさせない所にも凄みを感じます。

プリント部門
優秀賞

[仮面な彼女] 成瀬 夢

作品サイズ：A3、16枚組 使用プリンター：エプソン「PX-5V」 使用用紙：エプソン「写真用紙 <絹目調>」



清水 哲朗

多様なバリエーションは溢れ出る発想の賜物。それぞれシチュエーションが異なっているだけでなく、マスクも場所ごとに合わせて用意されている。その作り込みの丁寧さは驚愕に値します。1枚1枚の完成度が非常に高く、被写体との距離、シーンごとの表現力、横位置・縦位置写真の使い分け、作品セレクト、構成に至るまで隙がありません。学校や通学路など作者の身の回りの物や場所をフルに使ってのびのびと作品制作をしています。プリントも美しく、トーンが統一されているのは見ていて心地よいです。撮影、表現、プリントとどれを取ってもレベルが高く、アーティストとして将来どこまで伸びていくのか興味があります。今後の作品にも大きく期待しています。

舞山 秀一

写真作品でありながら、ファインアートに極めて近く、背景やマスクをキッチリと記号化している点が特徴的。こうした作品は、下準備が完璧にできていないと作れず、膨大な手間がかかるはずなのですが、それを実現している点は凄いなと思います。審査では、この作品をグラフィック（写真）として見ている訳ですが、アートとしてのコンセプトや本来持つメッセージを聞いてみたい作品です。また、そうした部分が見えてくるようになると、もっと突き抜けた作品になっていくのだと思います。今は、努力を買われて評価されている部分が大いなのですが、これがさらに完成形に近づいていったときに、どういった作品になるのか、非常に興味深く感じました。

プリント部門
優秀賞

[エモイ] 小池 裕也

作品サイズ：A3ノビ、24枚組 使用プリンター：エプソン「PX-5V」 使用用紙：ピクトリコ「ピクトリコプロ・ソフトグロスペーパー」



清水 哲朗

グランプリこそ逃しましたが、全応募作品の中でも極めて完成度の高い作品のひとつと言えるでしょう。絵作りが圧倒的に上手く、写真1枚1枚の情報量があるのにスッキリとまとまっている。日々コツコツと膨大な量を撮影していたことが容易に窺え、幅を持たせる絶妙な作品セレクトと組み方で見る側を退屈させない内容に構成している点は見事です。「魅せる仕上げ」も完璧で、トーンを揃えながら1枚1枚丁寧にプリントされているのが伝わってきます。抜群の安定感は作者の武器ですが「諸刃の刃」に感じなくもありません。変化・挑戦・裏切りのような作品を入れ込むとより個性を発揮できるでしょう。

舞山 秀一

安定した作風でいろいろなものを持っている良作です。同じようなトーンと視点、意識で撮られていて、非常にバランスが良く、しかも枚数が多い作品。びっくりするほどの安定感があります。これだけの数があると、ブックなどに見せても面白そうに思いますが、今回はA3で大きくていねいにプリントされていて、密度と迫力の両方が表現されています。このように、様々な技法を用いているのですが、中でも感心したのが、ほとんどすべての写真でトーンを合わせている点です。黒と白、グレーのボリュームが、各プリント間で同じになるように調整すると、トーンが揃って見えるのですが、そうした技術を用いて、枚数の多い作品全体のトーンを揃えているのは見事です。

プリント部門
優秀賞

[OUR STRENGTH IN THE SORROW] 馬場 さおり

作品サイズ：A4、28頁ブック形式



清水 哲朗

写真集として売っていたら間違いなく買うと思った作品。写真のうまさ、力強さに加え、次のページの展開が気になる面白さ。ブックで量を見せるには「飽きさせないこと」が重要ですが、そんな心配は無用なほどに内容が充実しています。センセーショナルな内容や色に打ちめされそうになるページもありますが「これ以上続くと我慢できない」というタイミングで引きの写真を入れたり、メリハリをつけたりと絶妙な構成をしています。登場人物の多さ、被写体との距離の取り方のうまさ、感情の揺れの描き方は見る者を一瞬にしてブックの世界に飛び込ませてしまいます。自分や他人と本気で向き合っているということなのかもしれません。

舞山 秀一

ドキュメンタリーの技法を用いながら、自己を表現していくという“超ドキュメンタリー”といえる撮り方で、第三者を撮りながら、実際には自分を写し込んでいる素晴らしい写真です。撮影者の生きざまがキッチリと写し込まれているところに凄みが感じられ、作者の生活がすべてここに写っているかのよう。実際、被写体の人々と同化して、“内側”から写している、あるいはさらけ出している感じがひしひしと伝わってきます。また、ブックという表現形態も面白いと思います。写真によるブックは、小説家が長編小説に挑戦するのに似ていて、主に長いストーリーを表現する手法です。この作品でもストーリーの面白さが存分に感じ取れる仕上がりになっています。

プリント部門
審査員賞



[黒いドレスの少女 海辺]

田村 美樹

作品サイズ：A4、3枚組
使用プリンター：エプソン [EP-10VA]



[光輝]

桑田 知穂

作品サイズ：A4、4枚組
使用プリンター：エプソン [PPPS-2BER]



[雨だれのワルツ]

村田 和佳子

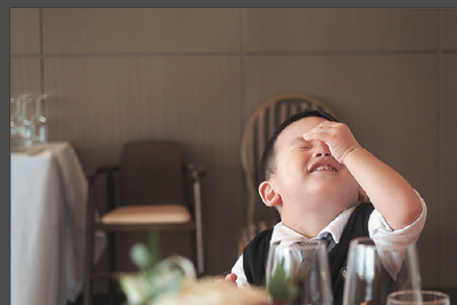
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン [EP-879A]



[フレーム -存在の軌跡-]

ピント ファン カルロス

作品サイズ：A3ノビ、4枚組
使用プリンター：エプソン [SC-PX5VⅡ]



[あちゃ〜]

関野 辰洋

作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン [EP-704A]

プリント部門
入選



[宿り木]
吉田 博一

作品サイズ：A3、単作品
使用プリンター：エプソン [PM-G4500]



[メンタルペイン]
西脇 亜美

作品サイズ：A4、11枚組
使用プリンター：エプソン [SC-PX5VⅡ]



[シエスタ]
田付 龍吉

作品サイズ：四切ワイド、単作品
使用プリンター：銀塩プリント



[光の弧]
本間 悠太

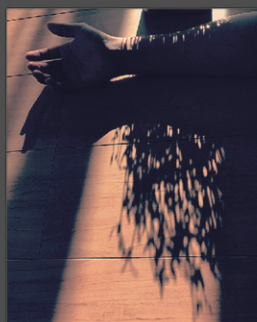
作品サイズ：四切、単作品
使用プリンター：キヤノン [PIXUS PRO-100S]



[ほらっ]
小森 奈々

作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：キヤノン [PIXUS MG7530]

プリント部門
佳作



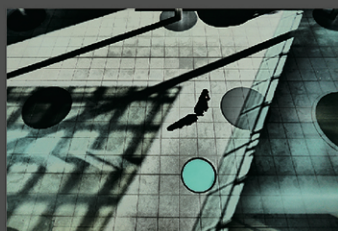
[リストカット]
田中 しおり

作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン [EP-807AW]



[もしも私がStarになれば]
松下 百花

作品サイズ：A4、11枚組
使用プリンター：エプソン [SC-PX5VⅡ]



[アンビエント]
高野 光

作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：キヤノン [PIXUS PRO-1]



[限界集落]
河辺 美男

作品サイズ：A3ノビ、10枚組
使用プリンター：エプソン [SC-PX5VⅡ]



[窓景]
須藤 崇

作品サイズ：A4、39枚組
使用プリンター：エプソン [PX-G5300]



[故郷]
馬場 歩

作品サイズ：A3、単作品
使用プリンター：エプソン [EP-976A3]



[秋の夢]
趙 越琛

作品サイズ：A4、3枚組
使用プリンター：キヤノン [PIXUS PRO-10S]



[声]
渡辺 真由

作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン [EP-50V]



[実体なき誘い]
田島 加奈子

作品サイズ：A4、9枚組
使用プリンター：エプソン [SC-PX5VⅡ]



[じいちゃん ばあちゃん]
五十嵐 恭雄

作品サイズ：六切、2枚組
使用プリンター：銀塩プリント

データ部門
優秀賞

[静寂] 河津 快

使用カメラ：DJI [Phantom 3 Advanced]



審査員講評

佐藤 健寿

炭鉱の廃墟を、ドローンで撮影した作品とのことですが、そうしたことは関係なく、「これは何なんだろう?」と思わせ、見る人の興味を引き付ける力を持った作品です。鬱蒼としたジャングルの中に木が1本だけ取り残されているという構図の面白さや、周辺光量を落としたり色再現を工夫したりして丁寧に仕上げられている点なども良かったと思います。作者は14歳とのことですが、ドローンという目新しい機材に使われてしまうようなことなく、興味に向くところに、きちんとカメラを向けて作画していて、若いながらも機材を使いこなして楽しんでいる点が素晴らしいと思いました。これから、いろいろな経験をされるとと思いますが、どんなことも、まずは興味の向いたものに素直に取り組んで楽しむことができれば、今回の作品のように素晴らしい成果に繋がっていくのではないかと思います。写真に関して少しアドバイスするとしたら、あえて同じ場所をドローンとフィルムで撮ってみて、その色表現の違いを学んだり、大判のプリントを作って画面で見ることと紙で見ることの違いを学んだりすると、今後さらに表現の幅が広がっていくのではないかと思います。今後のご活躍にも期待しています。

データ部門
入選



[二面相]

菅原 あゆな

使用カメラ：キャノン [EOS 80D]



[わあ、雪だ!]

高塚 晴規

使用カメラ：キャノン [EOS 5D MarkIII]



[フェルメール気分]

鈴木 明

使用カメラ：ソニー [α55]



[花火の街]

石田 直哉

使用カメラ：キャノン [EOS 70D]



[SLICE]

佐久間 美幸

使用カメラ：キャノン [EOS 70D]

データ部門
入選



[結晶化]
太田 菜子

使用カメラ：Apple [iPhone SE]



[寄り添う -樹氷の中のヤクシカ-]
中川 仁

使用カメラ：オリンパス [μ TOUGH-8000]



[リフレクション]
播磨 雅子

使用カメラ：ニコン [D7100]



[無作為]
川田 翔子

使用カメラ：キヤノン [EOS Kiss X7]



[反省]
水津 文子

使用カメラ：Apple [iPhone 6]

応募
概要

meet up!
-selection-
ミートアップ セレクション

未発表の作品であれば、インクジェットプリント、銀塩プリント問わずに応募可能で、プリントだから表現できる作品を募集しました。また、写真コンテストに気軽に挑戦いただけるように、データでの応募が可能な部門を設置、写真を楽しむ皆様の挑戦の場として開催しました。

プリント部門

グランプリ	1名	30万円 +グループ作品展 副賞：EIZO社製液晶モニター
優秀賞	3名	10万円 +グループ作品展
審査員賞	5名	SC-PX5VⅡ
入選	5名	Colorio V-edition シリーズ
佳作	10名	表彰状

データ部門

優秀賞	1名	10万円 副賞：Colorio V-edition シリーズ
入選	10名	Colorio V-edition シリーズ
エブソン賞	100名	作品をプリントしてプレゼント

プリント部門 審査員・総評



清水哲朗

本コンテストが創設された昨年は応募者、審査員共に方向性を探りながらでしたが、今年は前回の結果や上位入賞者によるグループ展「meet up! EXHIBITION」を踏まえた上での戦いと感じました。印象的だったのは固定観念や既成概念のない若年層や写真歴の浅い作者による応募が増えたこと。写真歴の長いベテランやコンテスト入賞常連者は作品の安定感と完成度の高さこそありましたが、既視感ある内容とアプローチが多いのは否めず、評価されることは稀でした。本コンテストはたとえ粗削りや発展途上でも写真作家としての伸びしろや将来性があると感じられる作品には高い評価をつける傾向があり、第2回目もそれが反映される結果となりました。

1975年横浜市生まれ。日本写真芸術専門学校卒業後、写真家・竹内敏信事務所入社。23歳でフリーランスとして独立。独自の視点で自然風景からスナップ、ドキュメントまで幅広く撮影。2005年「路上少年」で第1回名取洋之助写真賞受賞。2007年にはNHK教育テレビ「趣味悠々」デジタル一眼レフ風景撮影入門講師として出演。2012年夏に15年分のモンゴル取材をまとめた「CHANGE」を現地で上梓。「日経ナショナル ジオグラフィック写真賞 2013年」ピープル部門優秀賞受賞。2014年、日本写真協会賞新人賞受賞。2016年、写真集「New Type」で第16回さがみはら写真新人奨励賞受賞。公益社団法人日本写真家協会会員



舞山秀一

昨年よりも若い応募者が増えているようで、写真の内容がさらに面白いものになっていると感じました。前々から、若いチャレンジャーを増やしていきたいと清水さんとお話をしていた、それが現実になってきています。最初、作品を通して見たときに圧倒されるような作品が少なく感じて不安にも思ったのですが、それぞれをじっくり見ると、粗削りでも面白い作品が多く、今後に期待を持たせてくれるような作品が多かったと思います。審査も去年よりも楽しく行え、meet up! -selection- らしさといったものもできつつあると思いますが、それは年代関係なく、チャレンジしていることというのが、キーワードになっているかと思っています。

1962年福岡県生まれ。1984年九州産業大学芸術学部写真学科卒業。半沢克夫氏に師事1986年フリーランスフォトグラファーとして独立。1988年APA AWARDにて奨励賞受賞。2014年九州産業大学芸術学部客員教授就任。現在、ポートレートを中心に広告や雑誌、CDジャケット、写真集などで活躍。同時に、作品集の出版や写真展等を定期的に開催している。作品集に「ALIVE」「PEOPLE」「Garden-1」「die Stadt von engels」「ZOO」「Progress」www.maiyama.net Private works : www.maiyama.jp

データ部門 審査員・総評



佐藤健寿

データ部門は、テーマや使用機材の制限がほとんどない状態での募集ということもあり、応募作品全体を見渡してみると良い意味で“玉石混合”といえる面白さがありました。この点は、スマホやドローンなどの登場でカメラがより身近なものになったことを反映し、現在のカメラや写真を取り巻いている多様性が、そのまま再現されているかのようで興味深く感じられました。レベルの差も大きく、プロフェッショナルな技術を駆使して撮られたものから、記念写真的なものやアイデア一発勝負のものまで含まれています。とはいえ、実際に見ていくとプロだから、初心者だからといったことに関係なく、計算された作品の良さはもちろんですが、作り込まれていないが故に様々なものを想像させてくれる写真の良さといったものも感じられ、審査していても飽きることなく、楽しく審査することができました。審査にあたっては、できるだけ偏りなく、様々なジャンルの作品を横断的に選ぶように心がけましたが、そのなかでも目が止まるものは、パッと見た瞬間に何だろうと思わせるものや、2度見、3度見してしまうようなインパクトのある作品になったように思います。

武蔵野美術大学卒。世界各地の“奇妙なもの”を対象に、博物学的・美学的視点から撮影・執筆。写真集「奇界遺産」「奇界遺産2」、「THE ISLAND - 軍艦島」、「[SATELLITE]」、「世界の廃墟」など。TBS系「クレイジージャーニー」ほかテレビ・ラジオへの出演多数。新刊はNASAの宇宙探査50周年を記念した記録写真集「MOONSHOTS」(玄光社)を全面監修。instagram / twitter : @x51



エプソンの フォトポータル

「美しいプリントができると写真がさらに楽しくなる」

プロの写真家のテクニックや、よくご質問のあるプリントに関するお悩みの解決方法をご紹介しますwebページです。

エプソンのフォトポータル

検索



www.epson.jp/katsuyou/photo/

写真愛好家のためのエプソンのSNS

エプソン販売 写真通信

写真を楽しむために、上手にプリントする方法や、生活の中でプリンターを活用するアイデアをご紹介します。

Twitter



@epson_photo_jp

Facebook



@epsonphotojp

<http://www.epson.jp/meetup/>

エプソン meetup!

検索